

第10期 通期経営発表会について

TANOSHIKA TIMES



CREATING A WORLD WITHOUT DIFFICULTY IN LIVING AND WORKING



特集 経営方針発表会

これから先も もっと楽しく

TAKE FREE
ご自由にお取りください

SUMMER
2025
Vol.13

MAIN TOPIC 発表会を終えて 特別インタビュー



SANCYO
代表取締役

KAMURA YUTA
嘉村 裕太

経営方針発表会
実行委員(2名)

OKABE・MOUTAI
岡部・馬渡

OTHER TOPICS

□ 社長コラム
嘉村がゆく!

□ 新企画「出張版AKARI」
チャレンジャーとして
働いてみて

SPECIAL MOVIE

動画では、取締役COOの田代さんに
インタビューをしています!こちらから→



取締役COO
田代 亮一

実行委員インタビュー

Interview!



わくわくドキドキ
皆さんと楽しい時間を。

Q 準備について

この経営方針発表会の準備は、私にとっても楽しく、こただった。普段の業務は忙しいのですが、ちょっと楽しい時間という感じがしました。スライドを作りながら、本場に二、三ヤが止まらなかったです。大体子供の頃は可愛いと思うのですが、皆さんのギャップとかが面白かったです。

Q 仮装をしてみてもう本場に島川さんと司会

できて楽しかったです。これは一生の思い出になると思います。パカ殿はずっとやりたいと思っていて、島川さんがたまにまやりたいと言っていたジョーカーも白塗りだったので、これは運命だ。いいコンビだったので、いいかなと思っています。

Q 印象深いものは？

全部印象深いのですが、自分がスライドを準備した『あの時君は若かった』これは誰でしょうというゲームです。スライドを作りながら、本場に二、三ヤが止まらなかったです。大体子供の頃は可愛いと思うのですが、皆さんのギャップとかが面白かったです。

Q 楽しかったですか？

そうですね。楽しかったです。実行委員もたくさんいたので、本当にみんなで行ったという感じがしました。皆仲が良かったので、皆さんがどうしたら、楽しいかなというのを考えるのは、楽しく思いました。



TANOSHIKA SUPPORT

相談支援専門員

岡部 智栄 OKABE CHIE



Q 大変に感じたこと

事前に言われている時間内に終わらないことがあり、今回は時間の懸念がありました。今回は時間に間に合いました。周知していたので、伝えていたこともあり、今年は大幅に改善をされました。

Q 準備について

月一でミーティングを行って、私自身は、役員と連携して確認をしたり、実行委員内で役割を振っているので行っていました。練習については、いつもは直前にリハーサルを行っていましたが、今年は少し早めに行おうということになり、2週間前ぐらいに、リハーサルを行いました。

Q 成長・学び

会議を自分で進めていかなきゃいけないというのが、すごく苦手だったんです。でも今回、少しずつ克服できたのかなと思います。もう一つはスケジュール管理です。管理をする経験がなかなかできなかったのですが、経験できて良かったなと感じました。

Q 実行委員の連携

素晴らしいです。花丸でした。前回も実行委員として参加して下さった方が、数名今回も参加してくださったので、前回の反省点を活かした進行など、改善ができて連携もですし、内容も本当に楽しくなりました。会だったなというのを感じました。



TANOSHIKA CREATIVE 諏訪野町
生活支援員

馬渡 正代 MOUTAI MASAYO



実行委員を経て感じた成長。
何度も挑戦すること。

ご来賓からのコメント

この度は経営方針発表会へお招きをいただき誠にありがとうございました。これからの益々のご活躍を期待せずにはいられない素敵な時間を一緒に過ごすことに感謝申し上げます。



合同会社 Dweild
宮本 孝之 様

こちらのQRから
お二人のインタビュー
全文ご覧いただけます。



MANAGEMENT PRESENTATION

CREATIVE東町

チーム力で
支援していく

経営方針

MANAGEMENT PRESENTATION

発表会

3月15日に第10期経営方針発表会が行われました。

来賓の皆様も迎えて、
全社員と共に未来への意欲を高める場となりました。

午前は、役員や事業所から1年間の振り返りと

来期の動きについて発表があり、

午後はTANOSHIKAらしさ溢れる余興などが行われました。

誌面では、そんな発表会を成功へと導いた実行委員や、
変わらず「インフラになりたい」というビジョンを掲げる

代表の嘉村についてのインタビューを

掲載いたします。

成長を続けるチーム

考え、選び、動く。

PLUS

FARM

原点に
立ち返る

未来を、

クリエイティブに

CREATIVE諏訪野町

SUPPORT

社会に貢献できる存在として
価値を見出す

TIME SCHEDULE

午前

01

9:00

開会の挨拶

緊張の中、来賓の方にご挨拶を頂戴しました。

02

来賓紹介

来賓の方に決めポーズもお願いして和やかにスタートしました。

03

役員の振り返り

代表の嘉村、田代COO、平野CXOそれぞれが今年を振り返りました。

04

事業所の振り返り

各事業所の代表が、各事業所の今年の取り組みを振り返り、次期に向けた目標を発表しました。

05

来期に向けて

代表の嘉村が次期に向けた目標を熱く語りました。新たな事業についても発表がありました。

06

表彰式

会社のMVVを体現した方に、表彰が行われました。

午後

07

立食パーティー

今年は立食形式で食事会が行われました。事業所の垣根を越えて楽しく会食できました。

08

余興

実行委員の考えたゲームや、有志によるダンス、ビデオレターなど、どの出し物も盛り上がりました。

09

閉会の挨拶

社長と今年勇退される社員が抱き合うなど、感動の雰囲気のまま、今年も幕を閉じました。

COO田代さんの
インタビュー動画は
こちらから ▶▶▶





株式会社SANCYO 代表

嘉村 裕太

Q 来期の目標

日頃から常に言っている『ビジョンや『インフラになりたい』というのは、変わらないです。その中で『潰れてはいけないためにどうするか』『やりたいことをどうやって達成していくか』を引き続きやっていかないとはいけません。ただ、次の期からは会社としては、非常に楽しみな期になっていくと思っています。

Q 今期達成できたこと

達成できなかったことのほうが多いんですけど、チームとして会社として、目標に向かっていく姿勢ができたことは、トータルで考えてみると、今期は「手応えがあったな」と凄く感じました。

Q 経営発表会を終えて

今期は馬渡さん達が頑張ってくれて、僕が知る限りでは一番のいい出来だったのかなと思いますし、発表会自体もより良くなっているの、それを凄く実感できた年だったなっていうのを思いました。

Q 経営発表会のコンセプト

堅苦しいだけではなく、楽しいことも織り交ぜて文化にしていかなければ、TANOSHIKAらしくなくなってしまうので、『思い出に残る楽しさ』っていうのはコンセプトかもしれないですね。

Q 久留米におけるTANOSHIKAの役割

農業やコノ選択肢ってポピュラーになってきているんですよ。けど、就職に送り出すA型っていうのはやはり全国的に少ないですね。年々増えているのは国の方針に合わせてやっているだけで、僕はそうなる5、6年前から少しずつコツコツと積み上げて独自の制度を設けたり、担当者がいたりっていうことをやってきているので、そういう意味ではA型っていう福祉サービスの中で、自分に合った仕事を体験しながら就職に送り出してくれるっていう事業所というのが、TANOSHIKAの役割だと思っています。

こちらのQRから▼
全文をご覧ください。



会社として10年頑張れた自信、
成果が繋がっていくことが楽しみ。



SANCYO
MVV
AWARD

受賞者の声

午前中最後に行われた授賞式にて、TANOSHIKAのビジョンである「生きづらさや働きづらさのない世の中を創る」ことに貢献した社員を代表してお二人にコメントを頂きました。



MVV賞

領域を超える

この度は「領域を超える」を評価いただき、本当に嬉しいです。閉鎖的な常識にとらわれず、新たなアイデアや出会いを巻き込む大切さを再確認しました。今後も挑戦し続け、皆さんと共に新たなステージを切り拓く未来が楽しみです。

職業指導員

宮本 聖子



MVV賞

大胆にやろう

素敵な賞を頂き有難うございます。20年ぶりの社会復帰、個性あふれる先輩方とチームで支援をする毎日、はまさにTANOSHIKAです♪大胆に見えたのは素人だからだとは思いますがこのまま初心を忘れず、みんなで走り続けたいと思います！

生活支援員

保明 麻衣

嘉村がゆく！

05
no.

皆さま、こんにちは！

日頃から関わらせていただいている支援機関の皆さまにはいつも大変お世話になっております。

前回お話しさせて頂きました、弊社SANCの第10期経営方針発表会についてインタビューを受けましたので、中のページでは語りきれなかったことをこちらでお話しさせていただきます。

「インフラになりたい」 そのために

「インフラになりたい」ということに関しては、変わらずやっていくと思っています。その中でA型事業所の出店に関しては、去年の発表と大きく変わることがあって、去年の発表では「福岡方面の大橋に出店したい」と言っていたんですけど、現状その出店予定は中止になっています。



理由としては、生産活動を作っていくにあたって、距離が離れればその分難しくなるんですよね。ですので、企業さんとコラボレーションやアライアンスが可能である場所であれば、引き続きA型の出店を行ってきたいと考えています。

相談支援事業所は、変わらず出店はやっていくこうと思っています。そこに向けたチーム作りとして、『ネクストリーダー』という社内で次の所長候補を設けて、更なるステップアップを促しています。

次回の経営方針発表会

まだ完全に決まっています。が、設立十周年という場を借りて、これまでの感謝を伝えるというのを考えています。

経営方針発表会は、株式会社SANCで働くみんなに向けて、振り返りと未来の話をする場なんですけど、十年経ったっていうところで、働いているみんなや、関係している人達に対しても、感謝の場をついて、1つテーマとしておきたいなと思います。

それが経営方針発表会と一緒にやるのか、別の場を設けるのかっていうのは、まだ決めていないのですが、先ほども言ったように次の十年に向けてちゃんと発表したいというのもあるの、どうしていいかって悩んで



代表取締役
嘉村 裕太

1990年2月11日生(35歳)
水瓶座
趣味:筋トレ・漫画
4人のパパとして子育てより筋トレを頑張っています。ごめんなさい。

でいますね。2つともやるとなると、凄いボリュームになってしまうので、これから考えて行こうかなと思います。

SANCのしさを大切に、皆さまと歩めたらと思っています！

今回も最後までお読みいただきありがとうございます！

引き続き「TANOSHKA」より情報の共有・交換等ありましたら、いつでもどうぞよろしくお願い致します。

「これは成長したな、自分」と 思えたことがあれば 教えてください。

私が成長したなって思ったところは、報告・連絡・相談をちゃんとするようになったこと、ビジネスマナーを学べたところですね。上司の方にお声がけする前には、「今いいですか」という一言を付けるってことを徹底しています。また、プライベートのことにはなるんですけど、時間の使い方がいいのを意識するようになったところ。今までは早く帰ってきて、だらだら寝ちゃったりとかしていたんですけど、限られた時間の中で自立して生活していく上で一人暮らしなので、炊飯や家事をこういう風にルーティンでやっていくっていうのを、自分の中でできるようになったので、「人間らしい生活を送れているな」と思うようになりました。

チャレンジャーとして 今、目標にしていることは どんなことですか？

1番の目標は、やっぱり一般就労を目指すっていうところなんですけども、今は私自身のことで、体調管理に特に力を入れて頑張っていきたいなと思っています。

出張版

AKARI

チャレンジャーになられた川畑さんにAKARIのライターがインタビューを行いました！

チャレンジャーとは？

TANOSHKAの利用者が、就職へのステップアップとして契約社員となり、より実務に近い業務をこなすプログラム制度です。



チャレンジャー
川畑 充世

愛猫一匹と一人暮らし中。趣味はカラーージュ制作、愛猫のヒゲ集め。「日々是好日」をもっとに生きています。

インタビューの詳細はこちら



なぜチャレンジャーに 挑戦しようと思いましたか？

私のきっかけとなったのが、姪が「高校卒業したら、一緒に暮らしたい」と言ってくれたので、そのためには就職をやはり目指さなきゃなということを思った時に、このチャレンジプログラムが発足したのが大きい。環境の変化に弱くて、主治医からもドクターストップが出ていたんですけど、チャレンジプログラムで、一旦クッションを置くような形にするのであれば、OKということで、これがいっきにけだなと思ったので、チャレンジしてみようと思いました。

仕事の一日の流れを知りたいです。

本部ではまず朝来て皆さんで朝10時から挨拶をして、1日のお仕事が皆さん違うので、それぞれのお仕事の把握をして、そこからはもうひたすらお仕事をするという形ですね。DMが来たらDMの検品をしたり、今だと

駐車場の承認のお仕事だったりとか、あと公式LINEを引き継ぎましたので、公式LINEのチェックをしたりとか皆さんそれぞれの仕事をやってもらっています。こんな感じで、労務やサポートからお仕事を振ってもらったりしている合間に自分の就職活動もしています。



就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA FARM

(たのしか・ふぁーむ)

〒830-0047

福岡県久留米市津福本町
845-5

☎ 0942-38-2655

☎ 0942-80-0180 (FAX)

就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA CREATIVE 諏訪野町

(たのしか・くりえいていぶ・すわのまち)

〒830-0037

福岡県久留米市諏訪野町1-22
ワカナセントラルプレイス 5F

☎ 0942-80-6216

☎ 0942-80-6217 (FAX)

就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA PLUS

(たのしか・ぶらす)

〒830-0047

福岡県久留米市津福本町
1587-11

☎ 0942-27-5823

☎ 0942-27-5824 (FAX)

就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA CREATIVE 東町

(たのしか・くりえいていぶ・ひがしまち)

〒830-0032

福岡県久留米市東町25-3
プラザビル2F

☎ 0942-65-6842

☎ 0942-65-6843 (FAX)

相談支援事業

TANOSHIKA SUPPORT

(たのしか・さぽーと)

〒830-0018

福岡県久留米市通町 5-18
イデックビル 2F

☎ 0942-27-6063

☎ 0942-27-6167 (FAX)

本部業務

TANOSHIKA HOME

(たのしか・ほーむ)

〒830-0018

福岡県久留米市通町 5-18
イデックビル 2F

☎ 0942-27-6163

☎ 0942-27-6167 (FAX)



CHECK

公式サイトやSNSで最新の情報を発信しています! ぜひチェックしてみてください!



WEB



LINE



X (旧Twitter)



Facebook



Instagram

本広報誌(TANOSHIKA TIMES)は
TANOSHIKA CREATIVE利用者が
デザインを担当しております。



TANOSHIKA
CREATIVE
デザイナー
Hさん・Tさん